

猿払村IoT推進ラボ

事業の内容

事業目的・概要

- 各産業において、IoT技術やAI技術を駆使し「見える化」「省力化」を図り、スマート産業の構築に向けた取組みを実施する。
- いちごを第三の基幹産業とすべく、猿払システムを構築し漁業と酪農といちごのまちづくりを展開し、国内外の販路を確立する。

重要業績評価指標(KPI) H33年度までに

- スマート漁業: ホタテ漁獲量計画比5%増 労働時間5%削減
- スマート酪農: 生産量計画比5%増 労働時間4.16%削減
- スマート農業: イチゴ生産拠点 2社の企業誘致

今後の展開

三大基幹産業の競争力を高め、稼ぐ力をつける。

- スマート漁業: 生産性の向上、労働時間の短縮につなげる
- スマート酪農: 生産効率の向上から、後継者不足の解消へ
- スマート農業: 新規参入を呼び込み、いちごのまちへ

事務局

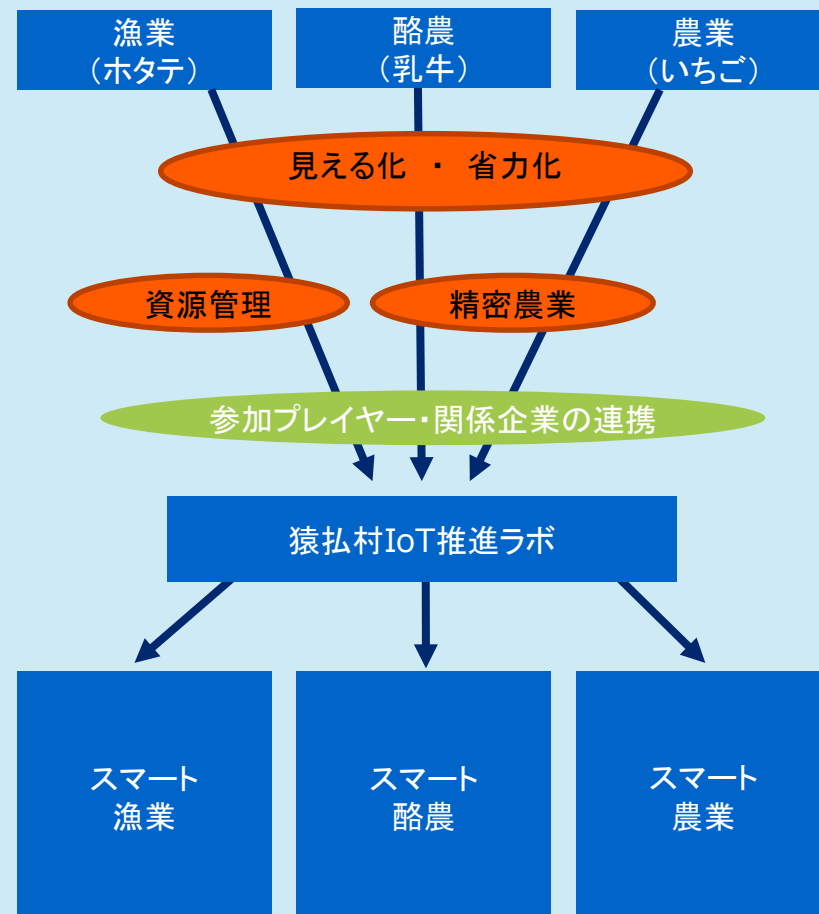
- 猿払村

参加プレイヤー

- 猿払村漁業協同組合
- 東宗谷農業協同組合
- (有)猿払村畜産振興公社
- (株)北海道銀行
- TIS北海道(株)
- (株)KITABA
- 合同会社ツクル

事業イメージ

猿払村の2大産業(ほたて/酪農)に新規産業(いちご)を加えた3つの分野でIoTを推進するラボ



- ✓ IoTの力で猿払の豊かさを支える三大産業の発展と安定化を図る。
- ✓ IoTの力で競争力を高め、稼ぐ力をつける。